

# 指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和4年度		
施設名	秋田県営玉川温泉ビジターセンター	設置年	平成 9 年
所在地	秋田県仙北市田沢湖玉川字渋黒沢		
指定管理者	株式会社 玉川サービス		
県所管課	自然保護 課	調整・自然環境	チーム

## 1 施設の概要

設置目的	自然公園の利用の促進を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与することを目的に設置したもので、焼山を中心とした火山活動や自然環境等をわかりやすく展示解説している。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における、当該施設の位置付け・目標 ----- 生物の多様性の確保と自然公園等の適正な管理					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として、当該施設に求められているもの ----- 自然環境学習拠点施設等の利用者数の増加					
施設の面積	敷地面積：18,947.40㎡ 建築面積：931.20㎡ 延床面積：802.93㎡					
主な設置施設	展示ホール（プロジェクションマッピング・ディスプレイ・パネル等）、休憩スペース、ワークスペース					
指定管理業務の内容	料金制	有（利用料金併用制 ・ 完全利用料金制） <b>無</b> （指定管理料制）				
	料金設定					
	サウンディング実施対象施設	×	←○、×を記入			
	指定期間	R3.4.1	～	R8.3.31		
	営業期間・時間	4月28日～11月4日 ・ 8：30～17：00				
自主事業の内容	1 施設及び設備の維持管理に関する業務					
	2 前号に掲げるもののほか、センターの管理に関し知事が必要と認める業務					
	1 木の実を使ったクラフト教室など自然学習活動 2 仙北市内や八幡平の写真パネル展や玉川温泉に関する情報展示 3 近隣施設及び関係機関からパンフレットや観光マップ等を取り寄せ、利用者への情報提供					
直近3年の年間利用者数	R2	5,317人	R3	5,807人	R4	7,309人
直近3年の年間料金収入	R2	千円	R3	千円	R4	千円
直近5年の収支決算（単位：千円）	H30	R元	R2	R3	R4	
収入計	5,102	4,990	5,148	5,406	5,036	
利用料収入						
指定管理料	5,102	4,990	5,148	5,406	5,036	
その他収入						
支出計	5,089	4,961	5,080	5,471	5,010	
人件費	2,184	2,276	2,360	2,387	2,388	
人件費以外	2,905	2,685	2,720	3,084	2,622	
差引	13	29	68	▲65	26	

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の2～3年前にサウンディング（官民対話）を実施する。

## 2 観点ごとの評価

### (観点I) 施設の設置目的(施設の目指す姿)の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

※協定書に記載した運営方針・施設の利用目標を記載  
(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和4年度の目標	利用者数 8,000人
----------	-------------

○指定管理者による実績報告

直近3年の実績	年度	R元年度	R2年度	R3年度
	目標	10,500	10,000	7,000
	実績	9,080	5,317	5,807
	達成率	86.5%	53.2%	83.0%
令和4年度の実績	実績	7,309人	達成率	91.4%
	具体的な取組とその効果	昨年11月の閉館後から展示品更新工事を実施し、多言語対応では個人のスマートフォンでQRコードを読み取り6ヶ国語の説明を聞くことができるようになった。その効果がみられたのか4月～7月は前年に比べ1,000人程入館者が増加したが、8月以降は新型コロナ感染者数の増加等により前年度並の入館者数となった。		
令和5年度の目標(設定根拠)	目標	利用者数 8,500人		
	設定根拠	新型コロナウイルスの「5類」の移行に伴う旅行者数の増加、及び全国旅行支援が6月末まで延長されることにより令和元年度の利用者数9,080人の9割程度まで回復できると思料。		

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

### (観点I) の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	B	年度目標人数を達成できると思っていただけに、新型コロナ第7波の発生が悔やまれる。
	県(所管課)	B	

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

## （観点Ⅱ）施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

### 【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度の状況 (直近3年)	R元年度	R2年度	R3年度	
	87.0%	77.5%	86.5%	
令和4年度の実績	実績	88.52%		
	具体的な取組とその効果	展示品がリニューアルされたことにより、展示品に対する満足度が高くなった。特に「北投石についての紹介」の映像と玉川温泉についての歴史パネルは利用者の満足度が高かった。		

## （観点Ⅱ）の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	展示品のリニューアルによる効果だと見ている。現在故障しているサーベイメーターが稼働すれば、「北投石についての紹介」映像とともに利用者の満足度がさらに高まると考えているので復旧が待ち遠しい。
県 (所管課)	A		

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：満足度80%以上 B：A及びC以外 C：満足度60%未満

## （観点Ⅲ）効率性の向上等に関する取組

### （1）経費の低減

#### 【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	経費の低減実績	・委託料総額5,036,000円に対して5,009,589円の使用だった。 (▲26,411円)
	具体的な取組とその効果	・オープン前の清掃は、直前に館内リニューアルを実施したため清掃範囲を縮小することができた。(予算対比▲99,000円)

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

### （2）収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

#### 【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	収入の増加実績	
	具体的な取組とその効果	

**(観点Ⅲ) の評価**

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	電気料金や除雪費が計画に対して増加したが、清掃規模の縮小や館内設備消耗品は必要最低限の購入にしたことで赤字にならずに終わることができた。
	県 (所管課)	A	指定管理料制施設であり、経費削減に務めながら運営されている。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：(1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で5%以上改善

B：A、C以外

C：(1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で5%以上悪化

**(観点Ⅳ) 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組**

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和4年度 の実績	<p>○職員配置状況 事業計画書に照らして適切な職員配置になっており、受付担当者が不在にならないなど利用者に迷惑がかからない配置になっている。</p> <p>○職員の勤務実績 事業計画書に照らして適切な勤務実績になっており、各職員が他の職員の業務状況を把握し手伝えるような工夫をしている。</p> <p>○施設・設備の管理 事業計画書の日常保守管理、定期点検、清掃等の計画に照らして適切に管理されており、消防設備機器と暖房の修繕が実施できたことでサーベイメーターを除いて全て稼働できている。</p> <p>○備品の管理 備品台帳に記載されている備品が全て揃っており、備品に目に見える損傷等がない。</p>
--------------	--

**(観点Ⅳ) の評価**

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	実施報告に記載のとおり、施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。
	県 (所管課)	B	管理運営に関して重大な問題点は見受けられない。

【評価基準】 A：順調（改善点なし）、B：概ね順調（重大な問題点なし）、C：改善が必要（重大な問題点あり）

県（所管課）の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

## 【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

### ○県の施策の達成状況

(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

- ・ 玉川温泉、新玉川温泉の利用者等の増加に寄与している。

### ○施設運営の課題

- ・ 施設の老朽化。

### ○今後の方向性

(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

- ・ 焼山を中心とした火山活動や自然環境の展示を継続するため、必要な修繕等を実施しながら維持管理を行っていく。